

技能評価システム移転促進事業 (SESPP)

事業実施報告書【ベトナム】

担当講師	稲川 文夫 (SESPP事務局技術顧問)
実施期間	2024年10月18日(金)～10月22日(火)
実施場所	ベトナム ドンナイ省 ドンナイ大学
研 修	技能評価技法 (SEM)、技能評価トライアル (SET)
実施職種	機械検査 2 級

2024年12月

結果概要

1. 対象者数：SEM 受講者 6 名 / 修了者 6 名
 SET 評価者 11 名 / 受検者 13 名 / 合格者 1 名

2. 日程

日時	実施内容
10月18日(金) 8:30～16:40	<p>【技能評価トライアル (SET)】</p> <p>(1) 研修スケジュール説明</p> <p>(2) 実技試験実施方法及び運営上の留意点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受検者に対する試験前注意事項用紙の使い方 ・ 解答用紙、採点用紙の説明と使い方 <p>(3) 実技試験に必要な機器・機材・備品等について</p> <p>(4) 実技試験会場の設営及び機材の配列</p> <p>(5) 学科試験会場の設営</p> <p>(6) 評価者チームの編成と役割分担</p> <p>14:00-16:40 【技能評価技法 (SEM)】</p> <p>(1) 計画立案等作業試験問題の構成、内容を説明</p> <p>解き方の要点 (直角三角形の作り方、三角関数、ピタゴラスの定理) を説明</p>
10月19日(土) 8:00-17:00	<p>【技能評価トライアル (SET)】</p> <p>8:00-8:10 受付</p> <p>8:10-8:35 開会式</p> <p>8:40-10:20 学科試験(100分)(受検者:12人)</p> <p style="text-align: center;">(学科試験の担当評価者以外の評価者は、作業1～作業4の正解値の測定)</p> <p>10:20-12:05 計画立案等作業試験(105分)(受検者:13人)</p> <p>13:00-17:00 製作等作業試験(受検者:13人)</p>
10月20日(日) 8:30-16:45	<p>【技能評価トライアル (SET)】</p> <p>(1) 減点評価表作成</p> <p>(2) 製作等作業試験の採点作業</p> <p>(3) 計画立案等作業試験の採点作業</p> <p>(4) 学科試験の採点作業</p> <p>(5) 実技試験結果表及び試験結果表作成</p> <p>(6) SET のまとめ及びアンケートへの記入</p> <p>14:00-16:45 【技能評価技法 (SEM)】</p> <p>(1) 計画立案等作業試験問題にチャレンジ</p> <p>(2) 図形問題の解き方を説明</p>
10月21日(月) 9:00-16:00	<p>【技能評価技法 (SEM)】</p> <p>(1) 図形問題の解き方及び管理図の問題の解き方を説明</p> <p>(2) 図形問題及び管理図の問題の作成上の要点を説明</p>

	(3) 学科試験問題にチャレンジ (4) 学科試験問題の解き方を説明
10月22日(火) 9:00-15:40	【技能評価技法 (SEM)】 (1) 学科試験問題の解き方を説明 (続き) (2) 学科試験問題作成上の要点を説明 (3) 学科試験問題作成演習 (各自 3 問以上) (4) 作成した問題の発表及び評価 (5) 総括 ・ アンケートへの記入

3. 講評

(1) 今回は、2 回目の機械検査 2 級の SET である。評価者は、歯車のまたぎ歯厚測定やハイトゲージによる測定に関して、受検者に対する指示や正解値の測定について適切に対応していることが判断できた。評価者としての能力向上が図られていることが実感できた。

(2) 受検者のレベルについて

今回 1 名の合格者が誕生した。学科試験に関しては、12 名中 7 名が合格レベルに達していた。また、計画立案等作業試験に関しては、13 名中 8 名が 20 点以上でレベルが高かった。一方、製作等作業試験では 20 点以上は 1 名で、三針によるねじの有効径測定、歯厚マイクロメータでまたぎ歯厚を測定して歯車の法線ピッチを求める作業、ハイトゲージによる高さ測定に苦戦している受検者が多かった。これらの測定に関する段取りと測定作業に慣れることで、今後多くの合格者が誕生することが期待できる。

4. アンケート結果

SEM【技能評価技法研修】

◆受講者 6 名 (回答者 6 人) (※5 段階評価)

満足度： 5：大変満足＝ 6 人 4：満足＝ 0 人
 役立ち度： 5：大変役立つ＝ 4 人 4：役立つ＝ 2 人
 継続性： 5：是非継続すべき＝ 3 人 4：継続すべき＝ 3 人

【有意義なプログラムは何だったか？】

- ・ 測定の実践スキルと多肢選択問題
- ・ 評価者の資質向上
- ・ より多くの知識と経験を積み、仕事に役立つ。
- ・ 選択式試験問題の作成方法
- ・ 機械検査のスキル
- ・ スキルと測定の心構え

【改善点・提案】

- ・ 続けるべき
- ・ レッスンが増えると、より多くの練習とより詳細な測定が学べる。
- ・ 来年も引き続き機械検査スキルを学習したい。
- ・ 来年は機械検査のスキルをさらに学ぶことを楽しみにしている。

【意見・感想・実施希望】

- ・ 機械製図 (CAD 作業)
- ・ CNC フライス盤作業
- ・ 機械工学(2)
- ・ 機械検査のスキル

◆現地責任者 1名 (回答者 1人) (※5段階評価)

継続性： 5：是非継続すべき=0人 4：継続すべき=1人

【改善点・提案】

- ・ 特になし

【意見・感想・実施希望】

- ・ 機械工学

SET 【技能評価トライアル】

◆評価者 11名 (回答者 11人) (※5段階評価)

満足度： 5：大変満足=10人 4：満足=1人
役立ち度： 5：大変役立つ=9人 4：役立つ=2人
能力向上度： 5：大変向上した=5人 4：向上した=6人
継続性： 5：是非継続すべき=8人 4：継続すべき=3人

【改善点・提案】

- ・ 日本で評価者として参加し、試験の企画と結果の評価に関する経験をさらに得たい。
- ・ 日本での実務経験。
- ・ 実施を続ける。
- ・ 毎年継続的かつ定期的に機械検査スキルのトレーニングを受けたい。
- ・ この作業には時間がかかるので、受検者 2 人が同時に試験を受けられるようにテーブルを 2 つ配置する。
- ・ 来年には、特殊な機械ツールを使用した測定スキルの追加トレーニングを実施してほしい。
- ・ 来年も機械検査のスキルを学ぶことを楽しみにしている。

【意見・感想・実施希望】

- ・ 機械製図 (CAD 作業) (3)
- ・ シーケンス制御 2 級
- ・ 機械検査 3 級
- ・ 機械工学
- ・ CNC 機械のメンテナンス
- ・ CNC の専門職種
- ・ 旋削、フライス加工、製図
- ・ レベル 2 の機械検査のトレーニングを継続する。
- ・ 機械検査スキルのトレーニングを受け、模擬試験を受けることを希望する。
- ・ 機械検査スキルの専門職種
- ・ JIS 規格に準拠した測定・検査を行う技術職種

◆受検者 13名（回答者 13人）（※5段階評価）

満足度： 5：大変満足＝9人 4：満足＝4人
役立ち度： 5：大変役立つ＝8人 4：役立つ＝4人 3：どちらともいえない＝1人
継続性： 5：是非継続すべき＝8人 4：継続すべき＝5人

【改善点・提案】

- ・ レベル2合格
- ・ もっと頻繁に実施する。
- ・ 良い
- ・ 現在、企業は多くの機械デバイスを使用しなくなり、代わりに電子デバイスに切り替えている。それに対応した内容にしてほしい。
- ・ より近代的な機器を使用し、さまざまな種類の測定ツールを体験したい。
- ・ 人気のプログラムなので、年に数回開催してほしい。
- ・ 測定時間を増やしてほしい。

【意見・感想・実施希望】

- ・ デザイン
- ・ 測定と検査
- ・ 機械的試験
- ・ 機械的測定
- ・ 電気専門職種
- ・ 先生方には試験中は大変お世話になり、ありがとうございました。
- ・ 精密機械および電子産業。
- ・ 現在のQCの仕事をきちんとこなして、スキルを向上させたい。

◆現地責任者 1名（回答者 1人）（※5段階評価）

継続性： 5：是非継続すべき＝1人

【改善点・提案】

- ・ 特になし。

【意見・感想・実施希望】

- ・ シーケンス制御2級、機械検査3級・2級、機械製図（CAD作業）3級。